

デフアスリートによる講話と競技体験



実施 学校名

品川区立宮前小学校

日時

令和6年6月6日(木)

場所

体育館

プログラム 概要

- ・現役のデフアスリートである坂田翔悟選手(2022年夏季デフリンピック大会出場)と長内智 選手(2017年夏季デフリンピック大会出場)を講師に迎え、デフ陸上競技についての講話と スタート体験、児童との質疑応答を行いました。
- ・聴覚障害のあるアスリートから、これまでの苦労や努力してきた話を聞くことで障害に対する 考え方や理解を深めることができました。また、光で合図をするスタートランプ等の競技器具 に触れることでデフスポーツに興味・関心をもつことができました。

体 験 風 톭



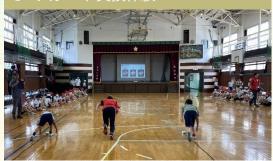
児童たちは、来年、東京で開催される夏季デフリンピッ ク競技大会への出場を目標に頑張っている等のお話を、 大きく相づちを打ちながら聴いていました。 お話が終わると、多くの児童が手話の拍手を送っていま した。



聴覚障害のある選手のための、スタートランプを使用した デフ陸上のスタートを教わりました。

赤=「位置について」、黄=「よーい」、青=「どん」 というランプの色の変化(合図)によりスタートするこ とを学びました。

スタート実技体験



坂田選手、長内選手と一緒にスタートランプによるス タートを体験しました。

赤ランプの点灯前にスタートの体勢に入ってしまうなど、 慣れない手順に戸惑う姿も見られましたが、日本代表選 手との貴重な体験を楽しんでいました。

質疑応答・記念撮影



「陸上をやっていて楽しかったこと」「聴覚障害のために 困ったこと」等、児童からの様々な質問がありました。 児童は、デフリンピックの素晴らしさ等について学びま した。最後は、お二人に教えていただいた「I Love You ポーズ」で記念撮影を行いました。

参加した 児童の声・ 反応

- ・デフリンピックについて知ることができました。親に話をしたいし、知らない人にも教えたい です。坂田選手、長内選手が日本代表になれたらいいなと思いました。
- ・耳が聞こえない選手のためのスタートランプなど、いろいろと工夫がされていてすごいなと思 いました。これから、デフリンピックを応援したいし、もっと広めていきたいなと思いました。
- 「障害もその人の個性」という言葉に、障害のある人に対する感覚が変わりました。来年のデ フリンピックを見たいです。